

株 主 各 位

法令及び定款に基づくインターネット開示事項

伊藤恒業株式会社

1. 事業報告
2. 貸借対照表
3. 損益計算書
4. 株主資本等変動計算書
5. 個別注記表
6. 監査報告書

[第59期（平成29年2月1日から平成30年1月31日まで）]

株式会社 イトヨーギョー

上記事項は、法令及び当社定款の規定に基づき、インターネット上の当社のウェブサイト (<https://itoyogyo.co.jp/ir/investors/>) に掲載することにより、ご提供しているものであります。

(伊藤恒業株式会社の計算書類等)

事業報告

自 平成29年2月 1日
至 平成30年1月31日

1. 株式会社の現況に関する事項

1-1. 事業の経過及びその成果

当事業年度における経済情勢は、海外経済においては、新興国の一部に弱さが残るものの、緩やかな成長を続けました。わが国経済におきましては、雇用・所得環境の着実な改善を背景に、2020年東京オリンピック・パラリンピック関連の特需や企業の生産性向上に関わる設備投資の増加、また、きわめて緩和的な金融環境と政府の大型経済対策の効果もあって、景気は拡大いたしました。

このような事業環境の中、当社は昭和34年に設立後、煉瓦の製造販売を行っておりましたが、現在は株式会社イトーヨーギョーの完全子会社として、実質的に休眠状態となっております。

こうした状況の中、当社の当事業年度業績は、所有不動産の固定資産税納税等の影響により、当期純損失553,759円となりました。

1-2. 資金調達についての状況

(1) 資金調達

該当事項はありません。

(2) 設備投資

該当事項はありません。

(3) 事業の譲渡、吸収分割又は新設分割

該当事項はありません。

(4) 他の会社の事業の譲り受け

該当事項はありません。

1-3. 重要な親会社の状況

名 称	資 本 金	議決権比率	主 要 な 事 業 内 容
株式会社イトーヨーギョー	500,000 千円	100%	コンクリート二次製品の製造・販売

2. 株式に関する事項

2-1. 発行株式数の1/10以上を有する大株主の状況並びにその他株式に関する重要な事項

- (1) 発行可能株式総数 64,000 株
- (2) 発行済株式の総数 20,000 株
- (3) 当事業年度末の株主数 1名
- (4) 大株主（自己株式を除く発行済株式の総数の1/10以上の株式を有する株主）

株 主 名	持 株 数	議 決 権 比 率
株式会社イトーヨーギョー	20,000 株	100%

3. 会社役員に関する事項

3-1. 当社の会社役員に関する事項

地 位	氏 名	担 当 及 び 重 要 な 兼 職 の 状 況
代表取締役	畑中 浩	株式会社イトーヨーギョー 代表取締役社長
取 締 役	神代 丈生	株式会社イトーヨーギョー 常務取締役
取 締 役	高岡 薫生	株式会社イトーヨーギョー 取締役
監査役（常勤）	鑄方 徳亮	株式会社イトーヨーギョー 監査役（常勤）

3-2. その他会社役員に関する事項

該当事項はありません。

貸借対照表

(平成30年1月31日 現在)

(単位：円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資 産 の 部)		(負 債 の 部)	
流動資産	157,240	流動負債	650,000
現金及び預金	157,239	未払金	650,000
売掛金	1	固定負債	150,000
固定資産	505,503	長期未払金	150,000
有形固定資産	500,000	負債合計	800,000
土地	500,000	(純 資 産 の 部)	
無形固定資産	5,503	株主資本	▲137,257
電話加入権	5,503	資本金	10,000,000
		利益剰余金	▲10,137,257
		利益準備金	500,000
		その他利益剰余金	▲10,637,257
		別途積立金	4,200,000
		繰越利益剰余金	▲14,837,257
		純資産合計	▲137,257
資産合計	662,743	負債及び純資産合計	662,743

損益計算書

自 平成29年2月1日

至 平成30年1月31日

(単位：円)

科 目	金 額
売 上 高	0
売 上 総 利 益	0
販売費及び一般管理費	553,759
営 業 利 益	▲553,759
当 期 純 利 益	▲553,759

株主資本等変動計算書

自 平成29年 2 月 1 日

至 平成30年 1 月31日

(単位：円)

	株 主 資 本			純 資 産
	資 本 金	利 益 剰 余 金	株 主 資 本 合 計	合 計
当 期 首 残 高	10,000,000	▲9,583,498	416,502	416,502
当 期 変 動 額			0	0
当 期 純 利 益		▲553,759	▲553,759	▲553,759
当 期 変 動 額 合 計	0	▲553,759	▲553,759	▲553,759
当 期 末 残 高	10,000,000	▲10,137,257	▲137,257	▲137,257

個 別 注 記 表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

この計算書類は、中小企業の会計に関する指針によって作成しております。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

	当 事 業 年 度 期 首 株 式 数 (株)	当 事 業 年 度 増 加 株 式 数 (株)	当 事 業 年 度 減 少 株 式 数 (株)	当 事 業 年 度 末 株 式 数 (株)
普 通 株 式	20,000	0	0	20,000

2. 自己株式の種類及び総数に関する事項

	当 事 業 年 度 期 首 株 式 数 (株)	当 事 業 年 度 増 加 株 式 数 (株)	当 事 業 年 度 減 少 株 式 数 (株)	当 事 業 年 度 末 株 式 数 (株)
普 通 株 式	0	0	0	0

(その他の注記)

特記すべき事項はありません。

監査報告書

私監査役は、平成 29 年 2 月 1 日から平成 30 年 1 月 31 日までの第 59 期事業年度の取締役の職務の執行に関して、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

1. 監査役及び監査役の監査の方法及びその内容

監査役は、取締役と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及び附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表及びその附属明細書）について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

平成 30 年 3 月 29 日

伊藤恒業株式会社 監査役

常勤監査役 鑄 方 徳 亮

Ⓔ